

気づき
考え
行動する
なかまと学ぶ笑学校

平成30年9月10日

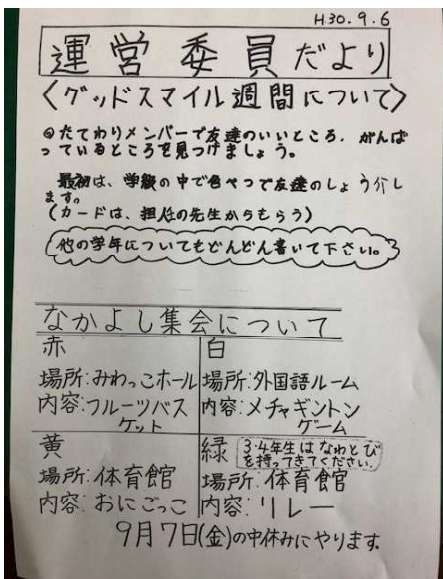
なかまと学ぶ笑学校

左のキャッチフレーズにぴったりの運動会の感想を見つけました。書いてくれた方ありがとうございました。学年末まで待てませんでした。笑顔になる文章だったので。

(前略) 残念ながら、子どもはリレーでは遅れてしまいましたが、それでも息子に声をかけてくれる仲間の優しさを感じました。みわっこの運動会は、「みんなが楽しめる運動会」なんだと実感させられ、子どもたちを見ていて教わったことがたくさんありました。

(前略) 遊走で子どものところへ走って行こうと私が準備をしていたときの事です。「あっ〇〇君だ! ホントだ。〇〇君頑張ってる。」という声が聞こえてきました。わが子よりも学年が上の女の子達の息子に向けた声援でした。息子は気づいていないかもしれないけれど、私の心はとてもあたたかくそのこえが伝わってきました。先月入学してきたばかりの息子を気にかけ、素直に応援できるその子達の思いやりに嬉しさを感じながら、我が子にもそんな「みわっこ」になってほしいと思った一日でした。

縦割り活動（色別活動）について



左の計画は、先週金曜日に行った「グッドスマイル週間」での縦割り活動です。下の写真のようにみんながスマイルになる素晴らしい時間でした。

本校では縦割り活動として、運動会だけでなく右のような清掃活動や集会活動でもその組織を生かしています。ではなぜ縦割り活動がどの学校でも盛んにおこなわれているのでしょうか？。たくさんのよさがあるのですが、高学年にとって「自己有用感」や「責任感」が育てられる場であることです。

下の感想を見てみるとそのことがよくわかります。6年生は、全員がリーダーとしてまとめる経験をします。



同学年での活動と異なり、より相手を思いやる気持ちがなくてははいけません。そして下学年はそんな高学年を目指すのです。昔は、そんなグループが近所にあって、常に社会性が磨かれたのですが、現在では意図的に作らなければなりません。それが縦割りグループの活動なのです。



めっちゃギントンゲームをやっているグループ



縦割りグループごとに掲示→

6年生の感想です！ 抜粋

活動してみたらみんな楽しくやってくれて「楽しい」と言ってもらえてうれしかった。

(五十嵐)

下の学年が6年生の言うことをきいてくれたのでよかった。笑顔でやってくれてよかった。来月も楽しくなることをやっていきたい

(佐藤(桔))

次の企画ではみんながもっとわくわくできるような企画を考えてもっとわくわくできるようにしたい。

(三浦)

まとめるのが難しくて大変だった。でも6年生で協力してなんとかまとめることができた。大変なことがたくさんあったけど、僕は何事にも前向きにやるのが大事だと思った。

(菅本)